

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11281

真舟芸術振興基金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	真舟芸術振興基金事業			

事業種別	継続			関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市真舟芸術振興基金条例			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	市民の各種文化芸術活動を推進することにより、文化芸術の創造と発展に貢献することを目指す。		書道家の故山本真舟氏からの基金を活用した事業を実施。書道講習会・若手芸術家支援事業・子ども和太鼓ワークショップを開催。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	書道講習会 夏期8月12日～13日 受講者27名 秋期11月12日 受講者6名 和太鼓ワークショップ 市内小学校5校実施 参加者323名 若手芸術家支援事業2名	書道講習会 夏期8月18日～19日 受講者23名 秋期11月18日 受講者12名 かな書展 来場者164名 和太鼓ワークショップ 市内小学校6校実施 参加者462名	書道講習会 夏期8月17日～18日 受講者26名 秋期11月3日 受講者12名 和太鼓ワークショップ 市内小学校4校実施 参加者255名 若手芸術家支援事業1名 入場者 303名	・書道講習会事業（新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止） ・若手芸術家支援事業	書道講習会事業・若手芸術家支援事業 (予定)

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	8,141	6,338	7,796	6,347	6,151	5,516	5,144	0	6,151	0
伸び率(%)	47.4%	41.5%	△4.2%	0.1%	△21.1%	△13.1%	△16.4%	△100%	19.6%	0%
人件費	正規職員	6,142	6,700	6,154	6,554	5,638	5,638	4,189	0	4,189
	正規職員以外	1,424	275	1,415	903	867	1,301	388	0	388
	小計	7,566	6,975	7,569	7,457	6,505	6,939	4,577	0	4,577
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,141	6,338	7,796	6,347	6,151	5,516	5,144	0	6,151	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.77	0.84	0.77	0.82	0.70	0.70	0.52	0.00	0.52
	正規職員以外	0.57	0.11	0.57	0.38	0.38	0.57	0.17	0.00	0.17
主な予算内訳	報償金 900千円 子ども和太鼓ワークショップ開催委託料 1,016千円 若手芸術家育成補助金 400千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
講習会等開催数		回	目標値	7	7	7	7	8
			実績値	7	8	7		
			達成度(%)	100%	114.2%	100%	%	%
講習会等参加者数		人	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	356	661	595		
			達成度(%)	89%	165.2%	148.7%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	真舟芸術振興基金を活用した事業であり、各事業において参加者から概ね好評を得ており、一定の成果が表れているものの、今後も引き続き事業の充実に努める。
見直し・改善内容	書道講習会事業については、受講者の増加を目指す。また、講習会の成果発表の場としての展覧会を開催し、本市におけるかな書道のさらなる振興を目標とする。 子ども和太鼓ワークショップ事業については、市内小学校を令和元年度で一巡したことから、次年度以降事業廃止。若手芸術家育成事業については、対象者の知名度や集客力の向上ができるよう、さらなる広報の強化と芸術家の育成を推進していくとともに、市民に優れた文化芸術に触れる機会を広く提供することを目指す。